

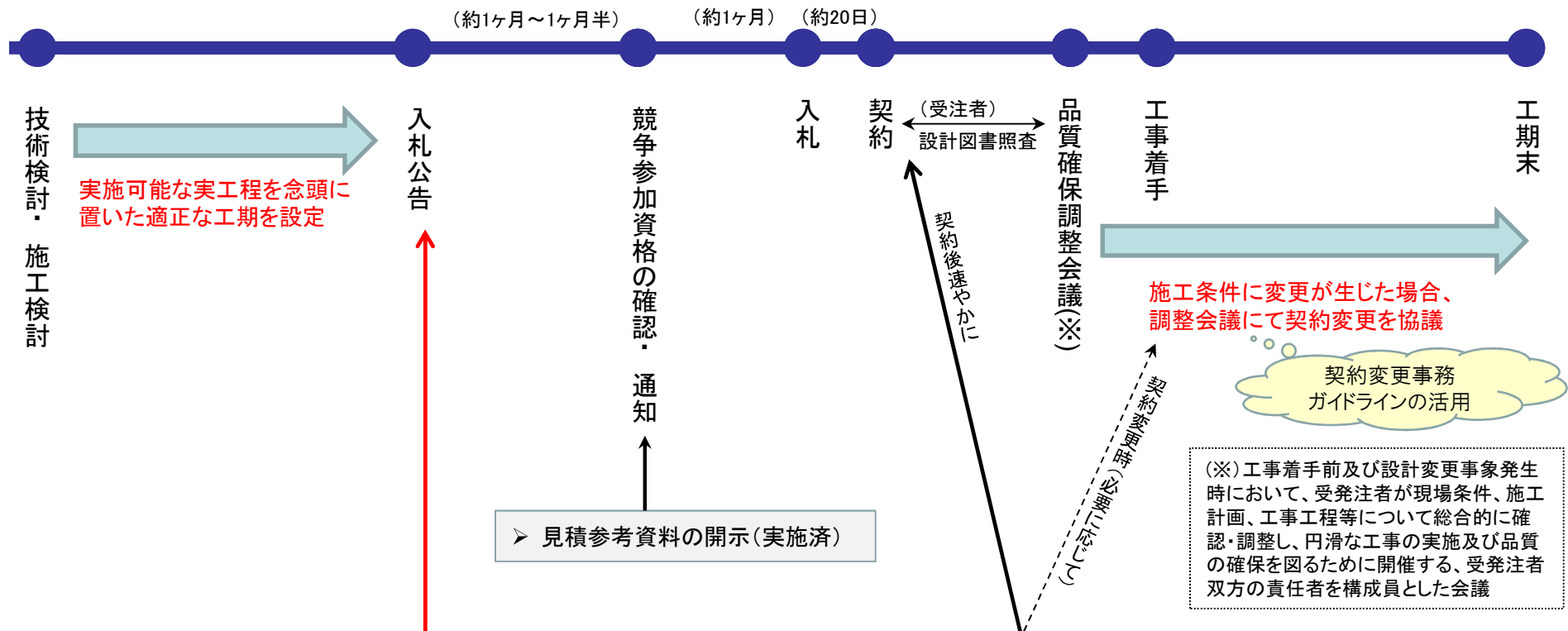
第2回検討会及びWGでの意見

- ✓ 受発注者間で工期設定の前提に不整合があると、受注者が想定する施工に必要な日数や機材が必要になる時期に齟齬が生じてしまい、その調整に不測の時間を要し、結果として工期を圧迫し、休日の取得が困難になることがある。このため、**施工条件の明示が極めて重要**。
- ✓ 施工条件の確度が低いと明示の意味が無くなるため、**施工条件の調査、把握を十分に行う必要がある**。
- ✓ 施工条件は、調整中等の未確定事項であっても、未確定事項が存在することを前提として工事工程の検討を行うことができるため、その旨を明示されたい。
- ✓ 入札前の条件明示について、現状でも特記仕様書において一定程度記載があるが、必要の条件明示がなされているか網羅的な確認が困難。
- ✓ 精緻な工程表は、契約締結後の品質確保調整会議において開示されれば良い。契約前については、週休2日が確保できるような適正な工期であるかどうかを判断するため、概略工程表を開示して頂きたい。
- ✓ 条件明示が的確になされ、受発注者間で適切に情報共有できるのであれば、工程表ではなく、チェックリストのような、施工条件が一覧できる資料の開示でも良い。

ガイドライン案の記載方針

- ✓ 条件明示の重要性を踏まえ、**工事ごとの多様な施工条件の調査、把握を十分に行い、特記仕様書において当該施工条件を的確に明示する旨記載**。(具体的な記載内容は「資料編」において記載。) (P45～P48)
- ✓ 特記仕様書では条件明示の網羅的な確認が困難であるとの意見を踏まえ、受注者における当初の工事計画の立案等に資するため、**特記仕様書の参考資料として工事工程に関する施工条件の一覧表(チェックリスト等)を提供するよう努める旨記載**。(P8L23～L26)
- ✓ 現在、国が発注する港湾・空港工事における受注者への施工条件等の明示等の情報共有は、契約後に開催する「品質確保調整会議」を中心として実施しており、工程表の開示も当該会議の場において開示するよう運用している。契約前に工程表を開示する取組はこれまで行っていないことから、現時点では契約前における概略工程開示の効果判定が困難であるため、**今後、港湾・空港工事において契約前の段階で工程表を開示する試行工事を実施し、契約前における工程表開示の有効性を検討する**。
- ✓ 契約前に示す施工条件については、必ずしも工事の実施期間中に起こる可能性がある全ての事象を明示できるわけではなく、不確定要素も多分に含まれるものであるため、**具体的な工事の実施工程については品質確保調整会議等において受発注者間で協議、確認する必要がある旨記載**。(P8L27～L29)

発注者が想定する施工条件等の明示方法について



- ▶ 特記仕様書による条件明示(実施済)
- ▶ 施工条件チェックリストの明示(新)

条件明示シート	明示事項	該当の有無	特記該当項目
		有 無	第〇条
工程関係	1. 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合は、他の工事の開始又は完了の時期	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2. 施工期間、工事の着手時期、竣工時期等及び施工方法が制限される場合は、特定される施工期間、工事の着手時期、竣工時期等及び施工方法	<input type="checkbox"/>	
	3. 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、その協議の成立見込み時期	<input type="checkbox"/>	
	4. 他官庁、その他関係機関との協議の結果、特定された条件が付き当該工事の工事費及び工程に影響がある場合は、当該条件	<input type="checkbox"/>	
	5. 休日確保評価型の試行を明記	<input type="checkbox"/>	
用地関係	1. 工事用地等の確保に未処理部分がある場合は、その処理の見込み時期	<input type="checkbox"/>	
	2. 施工者にクレーン、ブロック等の製作ヤード及び仮置場所を指定する必要がある場合は、その内容(場所、総重量、期間、積置・搬入の別等)	<input type="checkbox"/>	
	3. 作業船を回航する場合、係留場所及び緊急避難場所等を指定する必要がある場合は、その内容(場所、係留条件等)	<input type="checkbox"/>	
	4. 施工場所が図形確認施設である場合、法令遵守や制約の内容(立入制限等)	<input type="checkbox"/>	

- ▶ 工事工程表の開示(実施済)

区分	名称	業種	開始日	終了日	進捗率(%)													
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
土木	測量	測量士	2025/1/1	2025/1/31	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	基礎工事	土木	2025/2/1	2025/2/28	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	躯体工事	土木	2025/3/1	2025/3/31	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	電気工事	電気	2025/4/1	2025/4/30	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	水道工事	水道	2025/5/1	2025/5/31	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	舗装工事	舗装	2025/6/1	2025/6/30	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	塗装工事	塗装	2025/7/1	2025/7/31	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	清掃工事	清掃	2025/8/1	2025/8/31	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	緑化工事	緑化	2025/9/1	2025/9/30	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	その他	その他	2025/10/1	2025/10/31	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

施工条件チェックリストのイメージ(参考)

明示項目	明示事項	該当の有無		特記該当項目
		有	無	
工程関係	1. 他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合は、他の工事の開始又は完了の時期	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	第〇条
	2. 施工期間、工事の着手時期、施工時間帯及び施工方法が制限される場合は、特定される施工期間、工事の着手時期、施工時間帯及び施工方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3. 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、その協議の成立見込み時期	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4. 他官庁、その他関係機関との協議の結果、特定された条件が付され当該工事の工事費及び工程に影響がある場合は、当該条件	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	5. 休日確保評価型の試行を明記	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
用地関係	1. 工事用地等の確保に未処理部分がある場合は、その処理の見込み時期	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2. 施工者にケーソン、ブロック等の製作ヤード及び仮置場所を指定する必要がある場合は、その内容(場所、範囲、荷重条件、期間、有償・無償の別等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3. 作業船を回航する場合で、係留場所及び緊急避難場所等を指定する必要がある場合は、その内容(場所、係留条件等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4. 施工場所が国際埠頭施設である場合、法令遵守や制約の内容(立入制限等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
公害対策関係	1. 工事に伴う公害防止(家屋、水質、騒音、振動・防塵等)のため、施工方法、機械施設、作業時間等に制限がある場合は、その内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2. 工事の施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合は、家屋、水質、騒音、振動等の調査方法・内容、範囲等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3. 底質ダイオキシン類対策が必要な場合、その内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4. 土壌汚染対策が必要な場合、その内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
安全対策関係	1. 交通安全施設、保安設備、保安要員又は交通誘導員を設置及び配置する場合は、その内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2. 安全監視船を配置する場合は、その内容(期間、隻数、規格等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3. 発破作業等の保安設備、保安要員を設置及び配置する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4. 潜水作業における潜水病対策の設備を設置する場合は、その内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	5. 水雷保険等の内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	6. 鯨対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	7. 工事区域に埋設物がある場合は、それに影響を及ぼさない方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

品質確保調整会議において開示する工事工程表のイメージ(参考)

工事工程表(受発注者共有イメージ)

各工種に関する歩掛や具体的な工事開始及び終了日を記載

令和2年8月5日(作成)

区分	工事内容				発注者が想定する						月						備考	
	工種	形状・寸法	数量	単位	開始日	施工能力	組数	実日数	供用込み日数	終了日	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月
本工事	準備工	準備工	1	式	2020/8/5	-	-	45.0	45	2020/9/18	■							
	構造物撤去工	根固ブロック撤去・仮置	30	個	2020/9/19	32.0	1	1.0	2	2020/9/20		■						
	基礎捨石工	捨石本均し	531	m2	2020/9/21	9.8	4	13.6	24	2020/10/14			■					
		捨石荒均し	33	m2	2020/10/15	20.0	1	1.7	3	2020/10/17			■					
	根固工	根固ブロック撤去・据付	30	個	2020/10/18	32.0	1	0.9	2	2020/10/19			■					
		根固ブロック据付	6	個	2020/10/20	17.0	1	0.4	1	2020/10/20			■					
		袋型根固製作	50	個	2020/10/21	10.0	1	5.0	9	2020/10/29			■					
	上部工	袋型根固据付	50	個	2020/10/30	36.0	1	1.4	3	2020/11/1			■					
		上部コンクリート	21	スパン	2020/11/2	6.0	4		72	2021/1/12				■				
		(養生期間)			2021/1/7			28.0	28	2021/2/3						■		
	雑工	支保組立組外	194	m	2020/9/19	100.0	1	1.9	4	2020/9/23		■						
		吊金物切断	136	m	2020/9/24	12.0	1	11.3	21	2020/10/15			■					
	安全費	吊金物切断	113	m	2020/10/10	10.0	1	11.3	21	2020/10/31			■					
安全監視船		1	式	2020/9/19	-	-	-	-	2021/1/12			■						
片付工	片付工	1	式	2021/2/4	-	-	15.0	15	2021/2/19							■		
関連工事	工事工程に影響する外的要因																	
	〇〇港〇〇地区防波堤(2)上部工等工事	上部工	左記工事でCP船を使用後、本工事で上部工打設。															
施工条件	〇〇港〇〇地区防波堤(1)改良工事	上部工	上部工打設完了後、左記工事でCP船を使用。															
	関係機関との協議	漁業関係者	R2.4月に関係漁協説明済み(4/13 A漁協、B漁協、4/21 C漁協、D漁協、E漁協、4/23 F漁協)															
海上保安部		R2.4.16に〇〇海上保安部に説明済み。																
受発注者調整	◎施工計画説明 ○三者会議 ◇三者連絡会議 △設計変更協議会 □検査										◎◇						□	

初回打合せ時に、関係機関との調整状況、貸与物件、支給材料に関する条件、関連する他工事の進捗状況等について受注者に情報提供する

受注者は、発注者からの情報に基づき工事工程計画を作成する

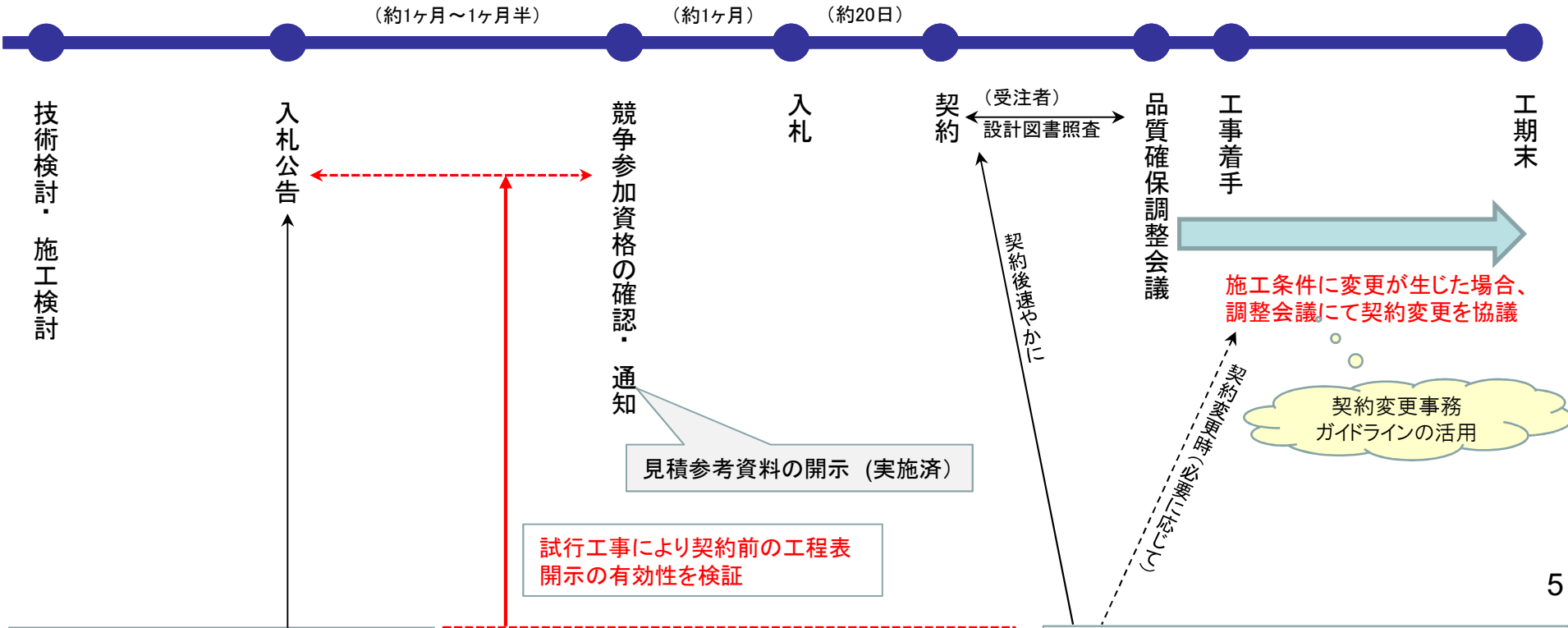


■目的
本資料は、受注者が行う工事工程の計画、管理が適切に行えるように、受発注者のコミュニケーションを円滑にすることを目的とするものである。また、適切な工程計画、管理により「休日確保」の推進を図るものであり、資料の内容に拘束されるものではない。

■概要
①発注者は、契約締結後の初回打合せなどにおいて、施工計画の条件となる関係機関との調整状況、貸与物件・支給材料に関する条件、関連する他工事の進捗状況等を受注者に情報提供する。
②受注者は、発注者からの情報に基づき、工事工程計画を作成し、施工計画説明を行う。
③受注者は、受注者の施工計画・施工管理の条件となる事項の状況に変更や追加が生じた場合は速やかに受注者に情報提供する。
受注者は、発注者及び関連工事の受注者と情報共有を図りつつ、当該工事の工程管理を行う。

■注意事項
本資料で提示する「発注者が想定する開始日・終了日」は、各工種ごとの工程算出に休止を考慮しているため土日祝祭日となる場合がある。これは、あくまでも工程算出上の例示であるため、問題が発生するものではない。

概略工程表開示試行工事の実施について(参考)



- 特記仕様書による条件明示(実施済)
- 施工条件チェックリストの明示(新)

項目	特記仕様書	チェックリスト
二俣関係	1. 概略工程表に欠けた内容(詳細)は、設計図書に明記し、全体工程に必要とする場合は、概略工程表に欠けた内容を補記する。 ()	2. 施工手順、工事の着手時期、施工の難易度(入札の仕方)が概略工程表に明記し、特定される場合は、概略工程表に施工の方法を明記する。 ()
特約関係	3. 特約工事の仕様(数量)の記載に注意し、その記載は変更できないものとする。 ()	4. 特約工事の仕様(数量)の記載に注意し、その記載は変更できないものとする。 ()
工費関係	5. 工費の明記が不明確な場合は、概略工程表に明記し、その記載は変更できないものとする。 ()	6. 工費の明記が不明確な場合は、概略工程表に明記し、その記載は変更できないものとする。 ()
品質関係	7. 品質関係の仕様(数量)の記載に注意し、その記載は変更できないものとする。 ()	8. 品質関係の仕様(数量)の記載に注意し、その記載は変更できないものとする。 ()
その他関係	9. 概略工程表に明記しない事項は、設計図書に明記し、その記載は変更できないものとする。 ()	10. 概略工程表に明記しない事項は、設計図書に明記し、その記載は変更できないものとする。 ()

➢ 概略工程表の開示(試行)



➢ 工事工程表の開示(実施済)

工事工程表(受注者共有イメージ)

項目	数量	単価	金額	開始日	終了日	進捗率	備考
本工事	1	2024/08/01	2024/03/31
堤防工	100	2024/08/01	2024/09/30
基礎工	150	2024/08/01	2024/09/30
安全費	1	2024/08/01	2024/03/31
外付工	1	2024/08/01	2024/03/31

〇〇港〇〇地区防波堤上部工等工事(実施済)

品質確保調整会議の開催日時: 〇〇年〇〇月〇〇日

品質確保調整会議の開催場所: 〇〇市〇〇区〇〇町〇〇番地

品質確保調整会議の開催時間: 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分

品質確保調整会議の開催形態: 〇〇(対面/オンライン)

品質確保調整会議の開催趣旨: 〇〇

品質確保調整会議の開催内容: 〇〇

品質確保調整会議の開催参加者: 〇〇

品質確保調整会議の開催費用: 〇〇

品質確保調整会議の開催報告書: 〇〇

概略工程表開示試行工事のイメージ(参考)

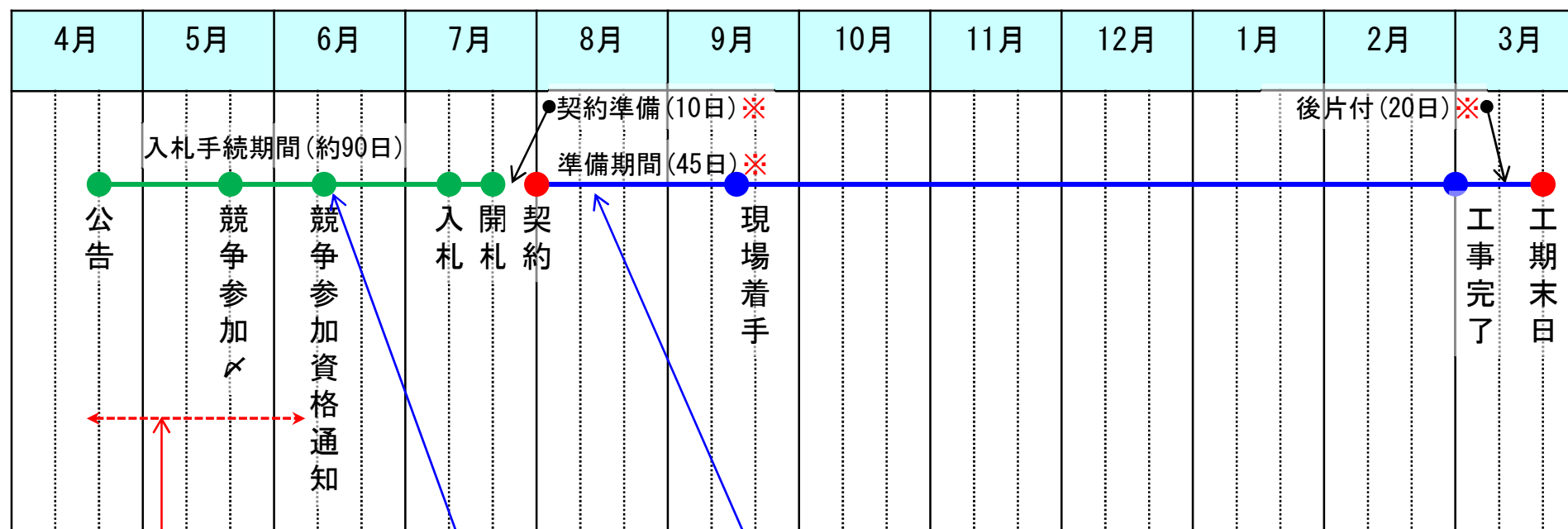
○港湾・空港工事に関して、概略工程表の開示に適した工事の選定、提示時期、内容(工種、工事工程に影響する外的要因)、効果等を検討する試行工事を行う。

【概略工程表開示試行工事の概要(案)】

- ・対象工事：複数工種の工事
- ・提示時期：入札公告又は競争参加資格通知日

(参考)入札から工事実施のスケジュールと概略工程表開示時期

※:通達上設定しなければならない最低期間



概略工程表開示

見積参考資料開示

品質確保調整会議

- ・契約後に速やかに発注者の想定する工程表を開示
- ・提示内容は、準備・後片付け期間、各工種の能力設定、現場制約条件等を含む。
- ・工物品質確保調整会議で受発注者間で確認し調整

概略工程表のイメージ(参考)

各工種の数量及び大凡の工事期間、想定される不稼働日等を記載

				〇〇港〇〇地区防波堤上部工等工事(概略工程表)								〇年〇月〇日現在	
	工種	単位	数量	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
本工事	準備	式	1	[Bar]								45日間	
	構造物撤去工	個	30		[Bar]								
	基礎捨石工	m ³	530		[Bar]							全体工程に影響しない工程は省略可	
	根固工	個	30			[Bar]							
	上部工	スパン	20				[Bar]						
	雑工	m	190			[Bar]							
	安全費	式	1		[Bar]								
	片付工	式	1							[Bar]		20日間	
工事工程に影響する外的要因													
施工条件	関連工事	〇〇港〇〇地区防波堤(2) 上部工等工事		[Bar]									当該工事でCP船使用後、本工事で上部工打設
		〇〇港〇〇地区防波堤(1) 改良工事								[Bar]		上部工打設後、当該工事でCP船使用	
	関係機関協議												
	漁業関係者	海上工事可能時期			[Bar]								R0.0.00に関係漁協説明済み
	海上保安部	作業許可申請		[Bar]									R0.0.00に〇〇保安部説明済み 〇〇について調整中の事項あり
	年末年始、お盆												8月中旬、12月下旬~1月上旬
	その他不稼働日						[Red Box]						11/12~13みなど祭りのため作業不可
その他												利用者との協議に基づき、2月中に竣工させる必要あり(工期延伸不可)	

<備考>この概略工程表は、入札参加者の適切かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条に言う設計図書ではない。従って、この概略工程表は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、具体的な工事の実施工程等については契約締結後に開催する品質確保調整会議において別途協議して決定する。

概略工程表の開示時点における、関係機関との調整状況、関連する他工事の進捗状況等の概略を記載